

# 医療的ケア児等コーディネーター養成研修 演習1日目 進行資料

## 1日目の獲得目標

医療的ケアが必要な児者、家族である前に、ひとりの人間としての「生き方」を尊重し、「人生」を応援する視点を持つ。

## 2日目の獲得目標

各自が専門職種を背景に、医療的ケア児等コーディネーターとして何をするか、具体的にイメージできる。

## 【グループワークでは】

＜さまざまな意見が出ることで、理解が広がり、深まります＞

- ・ 自分の意見を伝える

遠慮せず、自分の考え・意見を明確に伝えます。

正解、不正解はありません。

テーマに沿っていれば、突飛な意見でも構いません。

一度に話す長さは1分以内。全員にバトンが渡るよう、簡潔に話します。

- ・ 人の意見を聞く

意見を述べている人に体・目線を向けます。

あいづち、うなづきなどを入れます。

意見の違いがあっても、相手の意見を尊重し、「そういう考え方もある」と捉えます。（否定、批判はしません。）

# 「自己紹介」

所要時間は目安です。  
当日のアナウンスに従ってください。

## ＜グループワーク＞18分

・1人あたり3分程度

①氏名と所属

②現状での各自の医ケア児等との関わり

③この研修を受けようと思ったきっかけ

④こどもの頃の「将来の夢」

# 「私の活動イメージ」

所要時間は目安です。  
当日のアナウンスに従ってください。

## ＜個人ワーク＞「私の活動イメージ」 3分

- ・コーディネーターとして、自分はどのように活動するか、何をしたいか。
- ・基礎職種をベースに考える。

## ＜グループワーク＞「私の活動イメージ」 25分

- ・個人ワークの結果をグループでシェア

# 「本人・家族にとってどのような支援が必要か」

## ＜グループワーク＞「本人・家族にとってどのような支援が必要か」 30分

- ・どうしたら本人・家族のニーズがわかる？
- ・誰が、どのように把握できる？
- ・あなた(参加者の基本職種では)はどのように把握できる？

## ＜全体共有＞「本人・家族にとってどのような支援が必要か」 18分

- ・発表のポイント
  - 2分以内
  - 5W1Hで紹介してください
  - 誰が、いつ、どこで、誰に対し、どのようにすれば、把握できるか

# 「これから家で生活をする」

## ＜グループワーク＞「これから家で生活をする」 25分

- ・ご家族の思い、希望として想定されることは？
- ・どんな資源が使える？関係機関はどこ？どういう支援が入れば、在宅生活ができる？

## ＜全体共有＞「これから家で生活をする」 15分

- ・発表のポイント

2分以内

家族の思いや希望

まずはどのような資源が使えるそうか、どこが関係機関になりそうか

本人・家族の希望を踏まえた社会資源等がたくさん挙がることを目標とする

# 「Tくんの将来の夢」

## ＜グループワーク＞「Tくんの将来の夢」 25分

- ・事例Tくんの20年後（成人期）を想像してみる
- ・本人は、どこで、どのような生活をしたいだろう？何がしたいだろう？

## ＜全体共有＞「Tくんの将来の夢」 15分

### ・発表のポイント

1分以内

支援者としてどんな大人になってほしいか

どこで誰と暮らしているか

楽しみにしている日中活動、好きな時間、地域社会との本人の接点

家族の思い、希望として想定されること

どういう支援が入れば、夢が叶う？

# 「支援の見直し①」

## ＜グループワーク＞「支援の見直し①」 25分

- ・どのような支援が入ればよいか
- ・短期的な視点、中・長期的な視点
- ・家族全体を視野に入れる

## ＜全体共有＞「支援の見直し①」 15分

- ・発表のポイント

1分以内

家族全体の現在をどのようにとらえたか

今必要な支援(短期的視点)

先を見据えて入れる支援(中・長期的な視点)

## <2日目に向けての宿題>

- ①各自の地域の「医療的ケア児者が利用できる資源、医療的ケア児者に関する取り組み」を調べておく。

※児童だけでなく、成人以降の取り組みについても調べる。

- ②「医ケア児者支援に関して課題と感じていること」を考えておく。